

# 公益社団法人青森県社会福祉士会



## 令和6年度定時総会議案資料集

- 日時 令和6年 5月26日(日) 15:00～16:30
- 場所 県民福祉プラザ4階 県民ホール
- 次第
  - ・ 会長あいさつ
  - ・ 定足数確認
  - ・ 議長・議事録署名人選出
  - ・ 議事

### 審議事項

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告について

### 報告事項

- 1 令和6年度事業計画及び収支予算について
- 2 第3期中期計画の年次評価について
- 3 諸規程の制定・改正について

### その他

## 令和5年度監査報告

公益社団法人青森県社会福祉士会

会長 納谷むつみ 殿

私たち監事は、当会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行の状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及び財産目録について監査しました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及び財産目録等の監査結果

計算書類及び財産目録等は、当会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 6 年 4 月 30 日

監 事

工藤英明



令和 6 年 5 月 1 日

監 事

松本博子



## 第1号議案

### 令和5年度事業報告及び決算報告について

#### [提案理由]

令和5年度の本会における事業報告及び決算報告について承認を求めるものである。

## 令和5年度 公益社団法人青森県社会福祉士会事業報告書（案）

### ○総括

令和5年度は、本会設立30周年を迎える年度だったが、定時総会の役員改選で理事が大幅に入れ替わったほか、事務局長の交代もあり、新たな体制で会の運営に当たった年度であった。

第3期中期計画の第2年次に当たり、3つの基本目標は、規程の見直しや組織の立ち上げ等主要な部分についてはおおむね実行することができたが、具体的な推進体制の詰め等、細部の取組が必要となっている。

隔年実施の成年後見人人材育成研修及び名簿登録研修は、着実に実施した。成年後見等の権利擁護が必要な人々の増加を受け、ばあとなあ青森の名簿登録者数と受任件数が増加の一步をたどっているため、適正な後見活動を確保するため、名簿登録規程の改正を行った。

質の高い人材を育成するため、生涯研修事業運営委員会を改組し、会長をセンター長とする生涯研修センターを立ち上げる準備を進め、令和6年度から設置運営するに至った。さらに、初めて実践(研究)報告・交流会を開催し、会員の力量向上を目指した新たな取り組みを始めた。

また、全国大会実行委員会を立ち上げ、2026年度青森大会開催に向け会場を確保し、日士会や他県士会から情報収集しながら、大会準備や委員会体制の検討を進めた。

各支部では、地域の課題や会員の研修ニーズを踏まえて、会員講師のみならず外部講師を迎え、多様なテーマ・方式の研修が行われた。ハイブリッド開催により、他地域や遠隔地からの参加が見られるようになり、地域の他団体が行うフォーラムや展示に参画するなど、研修にとどまらない活動の広がりが見られた。

なお、高齢者及び障がい者の権利擁護に係る県からの委託事業・補助事業を例年に引き続き実施したが、事務局等の実施体制の事情から、研修受講者や出前講座の実績件数が伸び悩み、一部の研修が実施できなかったこと、また一部の委員会においては、実質的な活動ができなかったことは、反省しなければならない。

組織運営面では、事務局長の交代に伴う非常勤化や局員の退職等により事務局の運営が不安定になった。会報の発行が1回にとどまり、法人後見の新規受任を見合わせる等、現状維持を目指さざる負えない状況があったが、新たな職員の採用、退職職員の復帰の他、常勤局長配置の見通しをつける等、体制の立て直しが図られた。その中で多方面から寄せられる公的委員の派遣依頼に対し、本会への要請に応えるべく、関係委員会・支部との調整を行い、多くの会員を推薦・派遣した。

新型コロナウイルスの猛威が収まり、研修等で対面・集合方式が復活したが、時間や場所の制約がないオンライン方式も定着し、研修・事業・会議等の方法が多様化してきた。ばあとなあ活動報告がIT化される等、活動のデジタル化も進んでおり、対応する必要がある。また、人口減少に伴う地域社会の維持困難、孤立の問題、福祉人材の減少等に対して、福祉専門職の職能団体として、行動する必要に迫られている。

私たちは、定款に掲げる「社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護」という本会の目的実現のため、組織体制の強化を図り、他の専門職や地域との連携をより一層強くしながら、様々なニーズに応じた支援を提供する決意を新たにしている。

## Ⅰ 公1 社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護及び社会福祉の質の向上・増進に寄与するための事業

### 【1 社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護に関する取組】

社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利を擁護することを目的としている社会福祉士として、差別や迫害を受けている人々の支援を行う。ホームレス・元ハンセン病患者、虐待を受ける高齢者などを擁護し、支援する。

#### (1) 元ハンセン病患者、ホームレス、虐待を受ける高齢者・障害者等の権利擁護・支援に関する取組

##### ① 元ハンセン病患者との交流会、支援【ハンセン支援部会】

- ・松丘保養園との交流行事 なし
- ・松桜会理事会 開催なし
- ・「松丘保養園とともに歩む会」理事会開催なし

##### ② ホームレスの実態調査及び支援【事務局】

- ・青森市からの委託により、ホームレスの実態調査を実施  
令和6年1月17日（水）15時～18時実施 調査員4名（調査結果 1名確認）

##### ③ 高齢者・障がい者の虐待対応にかかる普及・向上【権利擁護委員会】

＜青森県高齢者権利擁護市町村支援機能強化事業＞（青森県委託事業）

- ・市町村等職員実務能力向上研修

令和6年 2月20日（火） オンライン 参加41名

- ・高齢者権利擁護意思決定支援研修

令和6年 1月18日（木） オンライン 参加46名

＜青森県高齢者権利擁護ネットワーク形成支援事業＞（青森県委託事業）

- ・高齢者権利擁護研修会

令和6年 1月12日（金） オンライン 参加25名

＜青森県介護従事者確保対策事業＞（青森県補助事業）

- ・介護従事者向け権利擁護研修（出前講座） 13件（事業所職員等 合計345名）

＜青森県高齢者・障害者権利擁護相談支援事業＞（青森県委託事業）

FAX・電話等による相談件数 （高齢者） 6件 （障害者） 0件

専門職の派遣による相談対応 （高齢者） 5件 （障害者） 0件

##### ④ 被災地支援活動助成事業

令和5年度実績 2件（能登半島地震被災地支援）

#### (2) 成年後見制度の推進事業

##### ① 「権利擁護センターばあとなあ青森」の設置・運営【ばあとなあ青森運営委員会】

ア ばあとなあ登録者の成年後見受任調整及びスーパーバイズの実施

ばあとなあ会員数 168名（令和6年1月31日現在）

- 令和5年度受任調整件数 104件 不調件数 18件
- イ ばあとなあ運営会議の開催  
令和5年5月20日、6月17日、9月23日、11月25日、  
令和6年1月20日、3月16日
- ウ 受任者面接の実施  
東青支部 令和5年11月30日、12月2日  
中南支部 令和5年12月4日～12月6日  
上十三支部 令和5年5月13日
- エ 成年後見制度に関する研修会等開催  
・フォローアップ研修会の開催  
令和6年3月2日 『医療同意と身元保証』 70名
- オ 講師派遣、会議出席  
・都道府県ばあとなあ連絡協議会  
令和5年10月29日 オンライン開催  
・R5弘前圏域権利擁護支援連絡会（弘前市）  
令和5年7月31日
- カ その他  
・運営委員2名による会員向け電話相談 15件

② 法人後見に関する取組【法人後見事業部】

- ア 受任件数 年度当初22件 年度末18件（開始1件、終了4件）
- イ 第三者委員会の開催  
開催日 令和6年3月20日  
場 所 オンライン  
内 容 法人後見の受任状況および実施状況について

【2 社会福祉に関する業務に従事する者の育成と資質の向上に関する取組】

より良い社会福祉サービスの提供を目指して、社会福祉に携わる者の育成と資質の向上を図る。

(1) 社会福祉士生涯研修制度に基づく研修【社会福祉士生涯研修事業運営委員会】

① 基礎研修Ⅰの実施

集合研修Ⅰ 令和5年 9月 3日

集合研修Ⅱ 令和5年12月 3日

修了者27名

② 基礎研修Ⅱの実施

令和5年5月6日～令和6年2月11日（11日間） 修了者17名

③ 基礎研修Ⅲの実施

令和5年5月14日～令和6年2月18日（10日間） 修了者25名

④ 基礎研修講師養成研修への派遣

令和6年2月10日（土）～11日（日） オンライン開催 1名参加

(2) その他社会福祉に関する専門的技術・知識の習得・活用に関する事業

- ① 若年会員を中心とした自主研修活動【ユース部会】  
【ユース研修会2023 in 青森】  
開催日 令和5年11月25日（土）  
場 所 県民福祉プラザ  
内 容 若手援助者によるワールドカフェ・セッション  
参加者 9名
- ② 医療ソーシャルワークの普及・向上【医療ソーシャルワーカー部会】  
開催なし
- ③ スクールソーシャルワークの普及・向上【スクールソーシャルワーク部会】  
開催なし
- ④ リーガルソーシャルワーク部会  
開催日 令和6年 3月16日（土）  
内 容  
参加者
- ⑤ 独立型社会福祉士委員会  
【リモート合同研修会】（中南支部との合同）  
開催日 令和6年3月24日（オンライン研修）  
内 容 地域での人材育成をつうじたソーシャルアクション  
～独立型ソーシャルワーカーができること～  
参加者 18名
- ⑥ 社会福祉士国家試験全国統一模擬試験の実施【事務局】  
受講者 1名（在宅一般受験1名）

### 【3 社会福祉の質の向上・増進を図るための取組】

地域における社会福祉のサービス向上のため、本会会員の有する専門性を活かして、事業を行う。

#### （1）福祉サービス第三者評価事業の実施【福祉サービス第三者評価事業運営委員会】

##### ① 福祉サービス第三者評価事業の実施 5件

- ア 明星こども園（八戸市）
  - ・訪問調査日 令和5年9月16日
  - ・評価調査者数 3名
- イ ひまわり乳児院（三沢市）
  - ・訪問調査日 令和5年9月27日
  - ・評価調査者数 3名
- ウ 小菊荘（八戸市）
  - ・訪問調査日 令和5年10月17日
  - ・評価調査者数 3名
- エ 青森おおぞら学園（青森市）
  - ・訪問調査日 令和5年11月 8日
  - ・評価調査者数 3名
- オ 若葉乳児院（青森市）
  - ・訪問調査日 令和5年11月10日

・評価調査者数 3名

(2) 社会福祉に関する啓発活動

①ソーシャルワーカーデー in あおもり (県内4職能団体による実行委員会主催)

開催日：令和5年10月8日(日) 会場：青森県立保健大学 参加者数：179名

内容：シンポジウム「ケアラー支援について考えよう」

4団体ブース展示、介護・福祉用具体験、ソーシャルワーカーへの相談

(3) 地域における社会福祉の増進【支部活動】

支部が行う社会福祉の向上への取組

事業名(研修名等)	実施日時	実施場所	参加者数
東青支部			
児童通所と相談支援のすべらない話	令和5年8月 23日(水) 19:00~20:30	県民福祉プラザ2F 多目的室2A 及びZOOM開催	40名
より良い地域医療のために	令和5年10月 18日(水) 19:00~20:30	県民福祉プラザ3F 共用研修室 及びZOOM開催	34名
医療的ケア児童を支える支援 ミライノカタチ	令和6年2月 20日(火) 19:00~20:30	県民福祉プラザ4F 多目的室4A 及びZOOM開催	56名
中南支部			
中南支部第1回研修会「子どもを地域で支える仕組みづくり～一般社団法人みらいねっと弘前の取組～」	2023年7月8日(土) 13:00~15:00	弘前学院大学 ラーニング・コモンズ	27名
正しい納税「これって経費？」～社会福祉士の確定申告～	2024年1月27日(土) 15:00~16:30	弘前学院大学 ラーニング・コモンズ	13名
中南支部・青森県精神保健福祉士協会弘前・五所川原支部 合同研修会「地域で気になる多頭飼育の現状とその対策」	2024年2月15日(土) 15:00~16:30	弘前学院大学 ラーニング・コモンズ	18名
中南支部・独立型委員会 合同研修会「地域での人材育成をつうじたソーシャルアクション～独立型ソーシャルワーカーができること～」	2024年3月24日(日) 13:30~16:30	リモート	18名
三八支部			
多職種連携による身寄りのない方の「おみおくり」	令和5年6月 10日 15:00~16:30	※ハイブリッド開催 家族葬ホールメモワール瑞雲白銀	75名



社会課題の解決に向けて～障がいのあ る方の就労と自己実現～	令和5年10月 21日 14:00～16:00	※ハイブリッド開催 八戸市津波防災センタ ー	28名
こころ・からだ・暮らしを支える支援 者に期待される役割と専門性を考える ～医師とソーシャルワーカーが連携・ 協働した事例を通じて	令和6年2月3 日(土) 14:30～16:00	※ハイブリッド開催 八戸市津波防災センタ ー	45名
西北五支部			
総会&勉強会 「保護司の活動について」 つがる地区保護司会 会長 吉田 誠也氏	令和5年6月 17日(土) 16:00	つがる市生涯学習 交流センター 「松の館」	16名
認知症フォーラム (社会福祉士会並びに成年後見制度P R)	令和5年9月2 日(土) 13:30	五所川原市ふるさと 交流圏民センター オルテンシア	5名
勉強会 「終活 エンディングノートを書いて みよう」 (一社)終活協議会・認定講師 終活ガイド資格1級・ エンディングノートセミナー講師 福士 千恵子氏	令和6年1月 13日(土) 15:00	五所川原市民学習 情報センター	22名
後見業務質疑応答座談会 司会 佐々木ひろみ アドバイザー 藤田 智久	令和6年3月2 日(土) 18:30	幸ノ家 (五所川原市)	7名
上十三支部			
「医療機関における支援困難事例のア プローチ」発表者：十和田市立中央病 院 十和田市医療介護連携相談支援セ ンター 田中裕之氏、地域医療連携部 柴崎陽介氏	R5.6.22(木) 18:30～20:00	Zoom、会場	38名
「十和田子ども食堂の新たな取り組み ～十和田子ども食堂バスが美味しく楽 しい食をお届けします。」発表者：十 和田子ども食堂実行委員会 水尻和幸 氏	R6.1.26(金) 18:30～20:00	Zoom、会場	32名
「障害への理解と共生社会について」 発表者：児童発達支援・放課後デイサ ービス BLUE PLAYS 管理者・自動発 達支援管理責任者 溝江広騎氏	R6.3.15(金) 18:30～20:00	Zoom	43名
下北支部			

青森大学むつキャンパス 勉強会①	6月29日(木) 13:00-14:10	青森大学むつキャンパス内	6名
青森大学むつキャンパス 勉強会②	7月13日(木) 13:00-14:10	青森大学むつキャンパス内	5名
青森大学むつキャンパス 勉強会③	7月29日(土) 9:00-15:30	むつ市金谷みちのく荘	7名
青森大学むつキャンパス 勉強会④	11月10日(金) 14:40-16:00	青森大学むつキャンパス内	7名
青森大学むつキャンパス 勉強会⑤	11月22日(木) 14:40-16:00	青森大学むつキャンパス内	7名
青森大学むつキャンパス 勉強会⑥	12月22日(金) 14:40-16:00	青森大学むつキャンパス内	6名
青森大学むつキャンパス 勉強会⑦	1月19日(金) 14:40-16:00	青森大学むつキャンパス内	6名
むつ市「ふれあい福祉展」 相談・展示ブース	10月28日(土) 10時～15時	むつプラザホテル	3名
むつ下北未来創生キャンパス祭・展示	10月29日(日) 9時～15時	下北文化会館	2名
第1回支部会	令和6年3月6日(水) 18:00～19:30	むつ市 まさかりプラザ	13名

【4 会の活性化と安定した組織運営・財政の確立に関する取組】

(1) 会報の発行

令和6年3月24日発行

II 法人運営関係

1 組織状況（令和6年3月31日現在）

- ・累計合格者数 2, 716名（2, 528+188）
- ・登録者数 2, 396名（2024.2.28現在）
- ・正会員数 673名（前年度比35人増）
- ・令和6年3月合格者数 188名
- ・賛助会員数 7名+1社+1法人

2 総会・理事会・運営会議等の開催状況

(1) 総会

定時総会 令和5年5月28日（日）県民福祉プラザ4階 大・中研修室／ZOOM

案件： 令和4年度事業報告及び決算報告について

出席会員 39名（会場）36名（ZOOM）13名

委任議決 134名（会員委任2名 議長委任132名） 書面表決194名

(2) 理事会

第1回 令和5年5月11日(木) 県民福祉プラザ5階 青森県社会福祉士会事務局/ZOOM 開催

・出席理事13名 鳴海春輝 最上和幸 宇佐美大輔 嶋中俊英 今栄利子  
納谷むつみ 中村直樹 平野絢子 松橋知紀 山内修 沼田徹  
三浦裕 反町吉秀

・監事 工藤英明 松本博子

第2回 令和5年11月23日(木祝) 県民福祉プラザ3階 共用研修室I/ZOOM 開催

・出席理事10名 納谷むつみ 平野絢子 松橋知紀 太田清道 下田亨 柴田康介  
佐々木啓太 金沢公太郎 山内修 三浦裕  
中村直樹(オブザーバー・日本士会理事)

・監事 工藤英明 松本博子

第3回 令和6年3月20日(水祝) ZOOM 開催

・出席理事11名 納谷むつみ 大場匡人 松橋知紀 下田亨 工藤泰平  
佐々木啓太 金沢公太郎 太田清道 三浦裕 沼田徹 久保隆明  
中村直樹(オブザーバー・日本士会理事)

・監事 工藤英明

(3) 常務理事協議会

第1回	令和5年	4月15日(土)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局
第2回	令和5年	5月6日(土)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局
第3回	令和5年	5月31日(水)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局
第4回	令和5年	6月10日(土)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局
第5回	令和5年	7月8日(土)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局
第6回	令和5年	8月5日(土)	県民福祉プラザ4階 多目的室4A
第7回	令和5年	9月9日(土)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局
第8回	令和5年	10月14日(土)	県民福祉プラザ2階 多目的室2A/ZOOM 会議
第9回	令和5年	11月11日(土)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局
第10回	令和5年	12月17日(日)	県民福祉プラザ3階 共用研修室I/ZOOM 会議
第11回	令和6年	1月5日(金)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局
第12回	令和6年	2月2日(金)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局
第13回	令和6年	3月7日(木)	ZOOM 会議/県民福祉プラザ5階 本会事務局

(4) 支部長・委員長会議

第1回 令和5年8月5日(土) 県民福祉プラザ4階 多目的室4A

・出席理事 納谷むつみ、平野絢子、大場匡人、松橋知紀、太田清道、柴田康介、  
工藤泰平、金沢公太郎、中村直樹(オブザーバー、日士会理事)

第2回 令和5年12月17日(日) 県民福祉プラザ3階 共用研修室I/ZOOM 会議

・出席理事 納谷むつみ、大場匡人、松橋知紀、工藤泰平、金沢公太郎

## 3 外部委員会等

令和6年4月1日現在

委員会名称	委員名	任期等
青森県介護支援専門員協会	齋藤 慶吾	R5 総会後-R7 総会終結時
青森県共同募金会配分委員会	鳴海 春輝	R5.9.27-R7.6 定時評議員会 終結時
あおもり高齢者すこやか自立プラン推進協議会	張間 絢子	R5.9.11-R7.9.10
青森県国民健康保険団体連合会介護給付費審査 委員会	納谷 むつみ	R6.4.1-R8.3.31
青森県地域福祉権利擁護センター契約締結審査 会（県社協）	大場 匡人	R5.10.1-R7.9.30
青森県地域生活定着支援センター処遇困難ケ ース専門検討委員会	最上 和幸	R4.5.1-R6.4.30
青森県障害者介護給付費等不服審査会	納谷 むつみ	R4.11.14-R7.11.14
青森県自殺対策連絡協議会	鳴海 春輝	R5.4.1-R7.3.31
青森県難病相談・支援センター専門委員会	鳴海 春輝	任期なし
(新)青森県成年後見制度全体協議会	今 伸子	R5.8.10-R7.3
生活福祉資金運営委員会（県社協）	中村 直樹	R6.4.1-R8.3.31
青森県運営適正化委員会（県社協）	鳴海 春輝	R4.10.16-R6.10.15
青森県いじめ防止対策審議会	鳴海 春輝	R4.7.30-R6.7.29
青森県いじめ問題対策連絡協議会	齋藤 慶吾	R6.4.1-R7.3.31
弘前圏域権利擁護支援連絡会委員	太田 清道	R5.10.6-R8.10.5
むつ市地域包括支援センター運営協議会及び地 域密着型サービス運営委員会	対馬 聡	R6.4.1-R8.3.31
むつ市高齢者・障害者虐待防止等連絡協議会	傳法 久昭	R4.7.1-R6.6.30
むつ市障害福祉計画等策定委員会	松橋 知紀	R3.10.1-R6.9.30
認知症疾患医療センター連携協議会(むつ市)	大槻 理香	R5 委嘱日-2年間
(新)むつ市成年後見制度利用促進協議会	松橋 知紀	R4.6.1-R7.5.31
弘前市高齢者福祉計画・介護保険事業計画審議 会	齋藤 拓	R5.7 末-計画策定年度の末日
弘前市地域包括支援センター運営協議会	小川 幸裕	R3.8.17-3年間
弘前市社会福祉問題対策協議会	小林 雅也	R4.11.22- R6.11.21
八戸市高齢者・障がい者虐待対策ケース会議構成員	柳沢 陽紀	R6.4.1-R8.3.31
八戸市市民後見推進協議会	齋藤 真裕美	R6 第1回開催日-R9.3.31
青森市障害者自立支援協議会	長谷川さとみ	R3 就任時-3年
青森市いじめ防止対策審議会	長谷川さとみ	R5.11.1-R7.10.31
青森市健康福祉審議会	今 栄利子	R3.11.1-R6.10.19
青森市地域密着型サービス等運営審議会	羽部 清隆	R6.5月委嘱日-R9.3.31
青森市障がい者差別解消調整委員会	張間 絢子	R4.8.委嘱日-2年間

青森市地域ケア会議（ケアプラン検証会議）構成員	小田原 秀樹	H30.10-
黒石市高齢者虐待防止ネットワーク会議	佐々木 雄輔	R5.7.20-R7.7.19
黒石市地域包括支援センター運営協議会	葛西 孝幸	R3.4.1-R6.3.31
五所川原市高齢社会対策検討委員会	工藤 泰平	R3.6.1-R6.5.31
五所川原市成年後見制度利用促進委員会	工藤 泰平	R5.5.1-R8.4.30
五所川原市在宅医療・介護連携推進事業実務者委員	藤田 智久	R5.7.1-R7.6.30
（新）中泊町権利擁護協議会	晴山 順一	R5.9.1-R7.8.31
板柳町地域包括支援センター運営協議会	藤田 博美	R6.3.1-R8.2.28
青森市慢性疾病児童等地域支援協議会	吉村 あけみ	任期なし
青森家庭裁判所弘前支部家事調停委員	渡邊 寿	H28.10-
青森家庭裁判所八戸支部家事調停委員	高橋 裕子	H19.4-
青森家庭裁判所八戸支部家事調停委員	田中 幸子	H19.10-
青森家庭裁判所八戸支部家事調停委員	小泉 紀之	R2.10-
青森家庭裁判所五所川原支部家事調停委員	寺田 富二子	H28.10-
青森家庭裁判所家事調停委員	新谷 美香	H18.10-
青森家庭裁判所家事調停委員	齋藤 慶吾	H29.10-
青森家庭裁判所十和田支部民事・家事調停委員	北澤 稲子	H30.4.1-
青森家庭裁判所野辺地出張所家事調停委員	十文字 利則	H30.4.1-
青森家庭裁判所十和田支部民事・家事調停委員	夏井 美月	H30.10.1-
青森家庭裁判所十和田支部民事・家事調停委員	豊田 佳結里	R2.4.1-
青森家庭裁判所野辺地出張所家事調停委員	下田 亨	R3.4.1-
青森家庭裁判所家事調停委員	嶋中 俊英	R4.4.1-
青森家庭裁判所弘前支部家事調停委員	中谷 忠	R4.4.1-
青森家庭裁判所野辺地出張所民事・家事調停委員	佐々木 しん	R4.4.1-
青森家庭裁判所八戸支部民事・家事調停委員	櫻橋 和加子	R4.10.1-
青森家庭裁判所十和田支部民事・家事調停委員	佐藤 功	R4.10.1-
青森家庭裁判所野辺地出張所民事・家事調停委員	宮古 道子	R5.4.1-
青森家庭裁判所弘前支部家事調停委員	白取 慎子	R6.4.1-

介護認定審査会委員（R5.4.1-R7.3.31）

地 域	委 員 名
青森地域（7名）	大場匡人、藤田雄樹、太田圭介、田村悟、滝本圭、嶋中俊英、村岡真由美
津軽地域（12名）	近藤葉子、福地晋也、多田麻衣、小川幸裕、工藤慎、葛西孝幸、田辺宏太郎、森山玲香、外崎准也、工藤浩行、齋藤拓、藤田博美
つがる西北五地域（10名）	永田恵子、福士千恵子、宇佐美大輔、福井裕也、秋庭諒輔、佐藤陽子、岸本翔平、丸山慧、下山功樹、福士江理子

八戸地域（8名）	源明、木津里美、亀田晶子、柴田康介、上野憲明、浮木隆、工藤英一、山口亜矢子
下北地域（3名）	加藤文丈、大槻理香、松橋知紀
(上十三 任期：R5. 4. 1－R8. 3. 31)	
上十三地域（6名）	佐藤功、中河原恵美子、村田文絵、佐々木神治、赤平光定、中平智弘、浜田美野

障害支援区分認定審査会委員（R5. 4. 1－R7. 3. 31）

地 域	委 員 名
青森地域（3名）	吉村あけみ、平野絢子、小川義光、碓井里紗
津軽地域（8名）	工藤怜子、對馬洋樹、鳴海春輝、工藤由歌理、田中大生、白取慎子、竹谷美和子、太田清道
つがる西北五地域（3名）	佐々木ひろみ、三上晃路、川村沙織
八戸地域（6名）	工藤英一、木津里美、夏井健光、晴山久寿、澤口由加里、金沢公太郎
下北地域（1名）	伴高助
(上十三 任期：R5. 4. 1－R8. 3. 31)	
上十三地域（1名）	中野渡むつ子

日本社会福祉士会アドバイザー

中南支部 小川幸裕 任期定めなし（年度ごとの継続）

## 貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	15,606,727	14,000,081	1,606,646
現金	44,584	13,775	30,809
青森銀行 県庁支店 普通預金	4,684,989	868,354	3,816,635
青森銀行 新町支店 普通預金	2,251,999	905,315	1,346,684
みちのく銀行 本店 普通預金	50,134	66	50,068
郵便貯金 普通預金	6,328,648	2,626,238	3,702,410
郵便振替口座	2,246,373	9,586,333	△7,339,960
その他流動資産計	856,348	1,969,558	△1,113,210
立替金	7,350	58,289	△50,939
未収金	848,998	1,911,269	△1,062,271
流動資産合計	16,463,075	15,969,639	493,436
2 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
相談事業準備引当預金	2,300,000	2,300,000	
第三者評価事業積立資産	574,726	574,726	
30周年事業積立資産	572,000	508,000	64,000
東北研修大会事業積立資産	700,000	700,000	
被災地支援事業積立資産	905,020	905,020	
地域ソーシャルワーク積立資産	2,000,000	2,000,000	
全国大会積立資産	8,650,000	1,200,000	7,450,000
生涯研修センター事業積立資産	1,000,000	1,000,000	
特定資産合計	16,701,746	9,187,746	7,514,000
(3) その他固定資産			
什器備品	601,200	524,335	76,865
その他固定資産合計	601,200	524,335	76,865
固定資産合計	17,302,946	9,712,081	7,590,865
資産の部合計	33,766,021	25,681,720	8,084,301
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,448,224	2,818,601	629,623
預り金	86,090	63,193	22,897
流動負債合計	3,534,314	2,881,794	652,520
2 固定負債			
負債の部合計	3,534,314	2,881,794	652,520
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	30,231,707	22,799,926	7,431,781
正味財産の部合計	30,231,707	22,799,926	7,431,781
負債及び正味財産合計	33,766,021	25,681,720	8,084,301

## 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
受取入会金	215,000	75,000	140,000
受取会費			
正会員受取会費	8,470,000	8,459,000	11,000
賛助会員受取会費	141,000	153,000	△12,000
事業収益			
事業収益	18,990,019	22,713,198	△3,723,179
名簿登録料	1,610,000	1,553,660	56,340
ぱあとなあ会費	3,576,600	3,440,000	136,600
事業収入	13,803,419	17,719,538	△3,916,119
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	239,000		239,000
受取寄付金			
外部委員協力者受取寄附金	1,135,500	1,179,888	△44,388
受取寄附金	63,450	156,575	△93,125
雑収益			
受取利息	172	125	47
雑収益	54,260	1,000,000	△945,740
経常収益合計	29,308,401	33,736,786	△4,428,385
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	5,987,880	9,946,640	△3,958,760
臨時雇賃金	597,262	335,200	262,062
退職給付費用	100,800	120,960	△20,160
法定福利費	960,304	1,391,886	△431,582
旅費交通費	558,387	531,751	26,636
通信運搬費	491,503	1,169,661	△678,158
減価償却費	73,012	48,674	24,338
消耗品費	107,021	198,396	△91,375
教材等購入費	72,006	8,470	63,536
印刷製本費	6,860	6,860	
光熱水料費	145,218	126,000	19,218
賃借料	740,195	298,755	441,440
保険料	138,450	124,650	13,800
諸謝金	2,746,990	6,046,509	△3,299,519
租税公課	101,080	22,650	78,430
支払負担金	108,500	106,400	2,100
支払助成金	50,000	27,000	23,000
業務委託料	336,000	322,060	13,940
研修費	20,270	159,588	△139,318
雑費	156,922	289,394	△132,472
管理費			
給料手当	1,496,970	736,673	760,297
臨時雇用者賃金(管)		89,200	△89,200
退職給付費用	25,200	23,040	2,160
法定福利費	240,076	77,195	162,881
福利厚生費	10,428	22,093	△11,665
会議費	10,169		10,169
旅費交通費	316,826	95,158	221,668
通信運搬費	245,221	516,194	△270,973
消耗品費	851,427	715,139	136,288



## 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費		49,720	△49,720
光熱水料費	36,304	71,683	△35,379
賃借料	189,228	88,720	100,508
保険料	4,300	4,300	
諸謝金	48,750	45,000	3,750
租税公課	7,220	1,100	6,120
減価償却費	138,323	56,191	82,132
支払負担金	3,185,000	3,225,000	△40,000
支払助成金	200,000		200,000
業務委託費	180,560	322,020	△141,460
外注費	877,000	1,412,470	△535,470
雑費	314,958	197,117	117,841
経常費用合計	21,876,620	29,029,517	△7,152,897
評価損益等調整前当期経常増減額	7,431,781	4,707,269	2,724,512
評価損益等計			
当期経常増減額	7,431,781	4,707,269	2,724,512
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計			
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	7,431,781	4,707,269	2,724,512
当期一般正味財産増減額	7,431,781	4,707,269	2,724,512
一般正味財産期首残高	22,799,926	18,092,657	4,707,269
一般正味財産期末残高	30,231,707	22,799,926	7,431,781
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	30,231,707	22,799,926	7,431,781

正味財産増減計算書内訳表  
令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	青森県社会福祉士会		内部取引等消去	合 計
	公益目的事業会計	法人会計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	107,500	107,500	0	215,000
受取入会金	107,500	107,500	0	215,000
受取会費	917,500	7,693,500	0	8,611,000
正会員受取会費	847,000	7,623,000	0	8,470,000
賛助会員受取会費	70,500	70,500	0	141,000
事業収益	18,990,019	0	0	18,990,019
事業収益	18,990,019	0	0	18,990,019
名簿登録料	1,610,000	0	0	1,610,000
ばあとなあ会費	3,576,600	0	0	3,576,600
事業収入	13,803,419	0	0	13,803,419
受取補助金等	239,000	0	0	239,000
受取地方公共団体補助金	239,000	0	0	239,000
受取寄付金	599,475	599,475	0	1,198,950
外部委員協力者受取寄附金	567,750	567,750	0	1,135,500
受取寄附金	31,725	31,725	0	63,450
雑収益	4,260	50,172	0	54,432
受取利息	0	172	0	172
雑収益	4,260	50,000	0	54,260
経常収益合計	20,857,754	8,450,647	0	29,308,401
(2) 経常費用				
事業費	13,498,660	0	0	13,498,660
給料手当	5,987,880	0	0	5,987,880
臨時雇賃金	597,262	0	0	597,262
退職給付費用	100,800	0	0	100,800
法定福利費	960,304	0	0	960,304
旅費交通費	558,387	0	0	558,387
通信運搬費	491,503	0	0	491,503
減価償却費	73,012	0	0	73,012
消耗品費	107,021	0	0	107,021
教材等購入費	72,006	0	0	72,006
印刷製本費	6,860	0	0	6,860
光熱水料費	145,218	0	0	145,218
賃借料	740,195	0	0	740,195
保険料	138,450	0	0	138,450
諸謝金	2,746,990	0	0	2,746,990
租税公課	101,080	0	0	101,080
支払負担金	108,500	0	0	108,500
支払助成金	50,000	0	0	50,000
業務委託料	336,000	0	0	336,000
研修費	20,270	0	0	20,270
雑費	156,922	0	0	156,922
管理費	0	8,377,960	0	8,377,960
給料手当	0	1,496,970	0	1,496,970
退職給付費用	0	25,200	0	25,200
法定福利費	0	240,076	0	240,076
福利厚生費	0	10,428	0	10,428
会議費	0	10,169	0	10,169
旅費交通費	0	316,826	0	316,826
通信運搬費	0	245,221	0	245,221
消耗品費	0	851,427	0	851,427
光熱水料費	0	36,304	0	36,304
賃借料	0	189,228	0	189,228
保険料	0	4,300	0	4,300
諸謝金	0	48,750	0	48,750
租税公課	0	7,220	0	7,220
減価償却費	0	138,323	0	138,323
支払負担金	0	3,185,000	0	3,185,000

正味財産増減計算書内訳表  
令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	青森県社会福祉士会		内部取引等消去	合 計
	公益目的事業会計	法人会計		
支払助成金	0	200,000	0	200,000
業務委託費	0	180,560	0	180,560
外注費	0	877,000	0	877,000
雑費	0	314,958	0	314,958
経常費用合計	13,498,660	8,377,960	0	21,876,620
評価損益等調整前当期経常増減額	7,359,094	72,687	0	7,431,781
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	7,359,094	72,687	0	7,431,781
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益合計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用合計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	7,359,094	72,687	0	7,431,781
税引前当期一般正味財産増減額	7,359,094	72,687	0	7,431,781
当期一般正味財産増減額	7,359,094	72,687	0	7,431,781
一般正味財産期首残高	6,603,272	16,196,654	0	22,799,926
一般正味財産期末残高	13,962,366	16,269,341	0	30,231,707
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増加額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	13,962,366	16,269,341	0	30,231,707

## 報告事項

### 1 令和6年度事業計画及び収支予算について

令和5年度第3回理事会で承認された令和6年度事業計画及び収支予算について報告するものである。

### 2 第3期中期計画の年次評価について

第3期中期計画では、「毎年度の取組を通じて成果を確認し、翌年度の取組に反映していく」こととしているので、令和5年度の成果（進捗状況）について評価を行ったものである。

### 3 諸規程の制定・改正について

令和5年度中に理事会で制定・改正が承認された以下の諸規程について、報告するものである。

#### <事業に関する規程類>

（改正）ばあとなあ青森運営規程

（改正）ばあとなあ青森名簿登録規程

（制定）ばあとなあ青森名簿登録規程（法人会員）

（改正）ばあとなあ青森助成細則

（制定）生涯研修センター設置運営規程

#### <事務局に関する規程類>

（改正）就業規則及びパート就業規則

（改正）給与規程及びパート給与規程

（改正）本俸及び手当等の支給に関する細目

（制定）育児・介護休業規程案

（制定）ハラスメント防止規程案

## 令和6年度 公益社団法人青森県社会福祉士会事業計画

### I 基本方針

#### <基本理念>

会員一人ひとりが社会福祉の増進に取り組み、社会貢献できる、開かれた会の運営

#### <基本目的>

- (1) 社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利擁護を推進する。
- (2) 社会福祉に関する事業に従事する者の育成と資質の向上に努める。
- (3) 社会福祉の質の向上・推進を図る。
- (4) 会の活性化と安定した組織運営・財政を確立する。

### II 令和6年度の運営方針

- (1) 引き続き、会として社会貢献できるよう、社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護、社会福祉士業務の普及、会員の資質の向上のさらなる推進を図る。
- (2) 「第3期中期計画」の進行工程表に基づき、基本目標に掲げる各種取組を着実に推進する。
- (3) 会員のつながりを大切にし、会員の意見が適切に反映されるよう、会運営の活性化を図る。
- (4) 成年後見事業に対する社会的役割に適切に対応していくため、法人後見事業を推進する。
- (5) 高齢者・障がい者の虐待防止、権利擁護に向けて、さらなる取組の強化を図る。
- (6) 生涯研修センターにおいて、基礎研修、スーパービジョン、認証研修等、各種の研修の実施体制を整備する。
- (7) 若い会員の研修・交流の機会を確保する。
- (8) 全国大会実行委員会において2026年度青森大会の企画立案及び準備を進める。
- (9) 医療分野、学校教育分野、司法分野におけるソーシャルワークに関する研修等を行い、会員の資質の向上やソーシャルワークの普及・啓発を図る。
- (10) 福祉サービス第三者評価事業の充実・拡大に向けて、調査員のフォローアップ等基盤の充実に努める。
- (11) 災害発生時に会員が円滑に被災地支援活動を行うことができるよう、会員に対する支援を行う。
- (12) 関係団体との連携のもと、ソーシャルワーカーデー事業を実施する。
- (13) 会員個々の実践活動を発表する機会としての学術集会を開催し、実践力の向上を図る。
- (14) 地域に根ざした福祉の向上を図るため、支部における会員活動の充実を図る。
- (15) 安定した運営が可能となるよう、収支相償を維持しつつ、単年度収支での会計全体の黒字を維持する。
- (16) 設立30周年記念事業を実施し、会の内外に会の存在を示すとともに、長年の活動の記録を残す。

### Ⅲ 事業内容

#### 【1 社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利の擁護に関する取組】

社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利を擁護することを目的としている社会福祉士として、差別や迫害を受けている人々の支援を行う。

#### (1) 元ハンセン病患者、ホームレス、虐待を受ける高齢者・障害者等の権利擁護・支援に関する取組

- ① 元ハンセン病患者との交流及び支援(ハンセン支援部会)
  - ・松丘保養園観桜会、納涼会への参加
  - ・依頼のあった機関での権利擁護研修の開催【2回程度】
- ② ホームレスの実態調査及び支援(事務局)
  - ・青森市からの調査依頼に基づき、ホームレスの実態調査を実施
- ③ 高齢者・障がい者の権利擁護活動(権利擁護委員会)
  - ・介護従事者向け権利擁護研修(出前講座)の実施【随時】
  - ・権利擁護委員会内部研修会
  - ・青森県市町村等職員実務能力向上研修(青森県委託事業)
  - ・青森県権利擁護意思決定支援研修(青森県委託事業)
  - ・高齢者権利擁護研修会(青森県委託事業)
  - ・青森県権利擁護相談窓口設置、アドバイザー派遣事業(青森県委託事業)

#### (2) 成年後見制度推進事業

社会福祉士の専門性を活かして、成年後見制度を活用し、認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な人々を保護し、支援する。

- ① 「権利擁護センターばあとなあ青森」の運営(ばあとなあ青森運営委員会)
  - ・家庭裁判所からの依頼に基づく受任候補者の推薦
  - ・ばあとなあ会員からの相談対応
  - ・ばあとなあ運営会議の開催【年5回】
  - ・受任者面談の実施【年1回】
  - ・ばあとなあ全国会議(都道府県ばあとなあ連絡協議会)への出席
  - ・日本社会福祉士会への活動報告
- ② 成年後見制度に関する研修会等開催(ばあとなあ青森運営委員会)
  - ・フォローアップ研修の開催
  - ・成年後見活用講座の開催【三八地域】
- ③ 法人後見に関する取組(法人後見事業部)
  - ・法人後見事業
  - ・法人後見事業第三者委員会の開催【年1回】

## 【2 社会福祉に関する業務に従事する者の育成と資質の向上に関する取組】

より良い社会福祉サービスの提供を目指して、社会福祉に携わる者の育成と資質の向上を図る。

### (1) 社会福祉士生涯研修制度に基づく研修(生涯研修センター)

- ・基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの実施
- ・基礎研修講師養成研修への派遣(東京都・2名派遣)
- ・スーパービジョン推進体制の整備
- ・実践(研究)報告会の開催
- ・会員サポート(研修情報提供・履修相談等)の実施
- ・日本社会福祉士会生涯研修センター協議会への参加
- ・全国生涯研修委員会議への参画(東京都)
- ・東北北海道ブロック事務局連絡会議(生涯研修部会)への参加

### (2) その他社会福祉に関する専門的技術・知識の習得・活用に関する事業

- ① 若年会員を中心とした自主研修活動(ユース部会)
  - ・北東北3県合同「小さな勉強会」(岩手県)への会員参加促進
  - ・ユース研修会2024
- ② 医療ソーシャルワークの普及・向上(医療ソーシャルワーク部会)
  - ・医療ソーシャルワークに関する研修会開催【年1回】
- ③ スクールソーシャルワークの普及・向上(スクールソーシャルワーク部会)
  - ・スクールソーシャルワーカー事例検討研修会の開催(年2回)
  - ・スクールソーシャルワーカー養成研修
- ④ リーガルソーシャルワークの普及・向上(リーガルソーシャルワーク部会)
  - ・リーガルソーシャルワーク内部研修会(刑務所見学等)の開催
  - ・リーガルソーシャルワーカー養成研修
- ⑤ 社会福祉士国家試験受験者への支援(事務局)
  - ・社会福祉士国家試験全国統一模擬試験【年1回】
- ⑥ 災害ソーシャルワークの普及・向上(被災地支援活動委員会)
  - ・被災地支援委員会公開研修会の開催【年1回】
  - ・災害ソーシャルワークに関する定期報告会の開催【年4回】
  - ・被災地支援活動従事会員への助成(災害発生時)
- ⑦ 独立型社会福祉士のネットワーク形成及び広報(独立型社会福祉士委員会)
  - ・独立型社会福祉士実践研究報告会

## 【3 社会福祉の質の向上・増進を図るための取組】

地域における社会福祉のサービス向上のため、本会会員の有する専門性を活かして、次の事業を行う。

(1) 福祉サービス第三者評価事業の実施(福祉サービス第三者評価事業運営委員会)

- ・第三者評価事業の実施【実施件数6件】
- ・調査評価者勉強会

(2) 社会福祉に関する啓発活動

- ① ソーシャルワーカーデーinあおもり(ユース部会)

(3) 地域における社会福祉の増進(支部活動)

- ① 東青支部

- ・支部研修会【年3回】

- ② 中南支部

- ・支部研修会【年3回】

- ・公開講座開催

- ③ 三八支部

- ・支部研修会【年3回】

- ・公開講座「災害時におけるソーシャルワーク～支援活動の現場から～(仮)」

- ④ 西北五支部

- ・支部研修会【年4回】

- ・高等学校における出前授業の実施

- ⑤ 上十三支部

- ・支部研修会【年3回】

「ヤングケアラーの現状と課題から考えてみよう」

「『おひとりさま社会』について語ってみよう(座談会)」

「障がい者施設における利用者の高齢化に伴う問題」

- ⑥ 下北支部

- ・支部研修会【年1回】

「生涯学習の進め方」

- ・公開講座

「ソーシャルワーカーデー及び社会を明るくする運動」

「被災地支援を考える・その2」

- ・むつ市ふれあい福祉展における関係団体との合同展示

- ・むつ市4大学キャンパスフェアにおける関係団体との合同展示

【4 会の活性化と安定した組織運営・財政を確立するための取組】

第3期中期計画に掲げる基本理念が会の運営に適切に反映されることにより、会が活性化するとともに、安定した組織運営及び財政が確立されるよう、次の事業に取り組む。



(1) 会の運営の活性化

- ・会報発行【年2回】
- ・公式サイト会員ページの充実【随時】

(2) 会の社会的認知を広める取組

- ① 第34回社会福祉士全国大会(青森大会)開催に向けた取り組み(全国大会実行委員会)  
第32回全国大会(栃木大会)の運営視察、参加促進
- ② 本会設立30周年記念事業の実施
  - ・記念式典の開催
  - ・記念誌の発行

(3) 安定した組織運営・財政の確立

- ① 総合的な相談体制の基盤整備
  - ・ソーシャルワークの活動範囲の広がりや県民及び関係機関からのニーズに対応し、総合的な相談窓口を設置する基盤整備を進める。
- ② 広報・広聴活動の推進
  - ・ホームページを活用した情報公開、メール配信システム、意見要望の徴取
- ④ 外部機関等への会員の参画の促進
  - ・外部委員推薦ガイドラインに基づく、円滑な推薦事務の遂行
  - ・苦情解決第三者委員等への登用推進
- ⑤ 公益法人の運営管理、適切な経理処理
  - ・事務局体制の強化
  - ・収支相償を維持しつつ、単年度収支での会計全体の黒字の維持
  - ・総会、理事会、常務理事協議会、支部長・委員長会議の開催 など

収支予算書(対比表)

令和6年4月1日

(単位:円)

科 目	当初予算(A)	前年度予算(B)	増減(A-B)	摘 要
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>経常増減の部</b>				
<b>経常収益</b>				
① 受取入会金	150,000	150,000	0	
受取入会金	150,000	150,000	0	
② 受取会費	9,528,000	8,769,000	759,000	
正会員受取会費	9,360,000	8,619,000	741,000	
賛助会員受取会費	168,000	150,000	18,000	
③ 事業収益	13,418,500	14,164,150	(745,650)	
事業収入	7,738,500	9,124,150	(1,385,650)	法人後見受任件数の減に伴う減収
名簿登記料	1,800,000	1,600,000	200,000	
ばあとなみ会費	3,880,000	3,440,000	440,000	
④ 受取補助金等	5,655,000	6,458,024	(803,024)	
受取地方公共団体補助金	917,000	6,308,024	(5,391,024)	計上費目の修正(補助→受託)
その他受託収益	4,738,000	0	4,738,000	計上費目の修正(補助→受託)
受取民間助成金	0	150,000	(150,000)	
⑤ 受取寄付金	1,540,000	1,320,000	220,000	
外部委員協力者受取寄付金	1,500,000	1,300,000	200,000	
受取寄付金	40,000	20,000	20,000	
⑥ 雑収益	0	0	0	
前期繰越収入	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
<b>経常収益計</b>	<b>30,291,500</b>	<b>30,861,174</b>	<b>(569,674)</b>	
<b>経常費用</b>				
① 事業費	22,688,255	23,419,576	(731,321)	
給料手当	10,210,176	10,183,428	26,748	
臨時雇賃金	540,140	231,400	308,740	
退職給与費用	103,680	706,240	(602,560)	
法定福利費	1,665,002	2,043,239	(378,237)	
福利厚生費	0	0	0	
旅費交通費	100,000	205,000	(105,000)	
会議・打合せ分	489,020	616,020	(127,000)	
研修・行事分	1,374,550	1,228,340	146,210	
通信運搬費	413,252	618,832	(205,580)	
消耗品費	388,300	387,532	768	
消耗器具備品費	0	330,000	(330,000)	
教材等購入費	103,690	181,350	(77,660)	
印刷製本費	298,400	401,900	(103,500)	
光熱水料費	126,000	161,920	(35,920)	
会議費	45,000	109,384	(64,384)	
賃借料	1,142,996	1,067,631	75,365	
保険料	150,000	132,000	18,000	
諸謝金	3,888,400	3,951,900	(63,500)	
租税公課	0	17,800	(17,800)	
業務委託費	86,000	240,000	(154,000)	
支払負担金	162,000	249,400	(87,400)	
支払助成金	960,000	180,000	780,000	
手数料	122,000	0	122,000	
研修費	225,600	45,880	179,720	
雑費	94,050	130,380	(36,330)	
② 管理費	9,071,298	5,246,613	3,824,685	
給料手当	2,612,544	2,348,130	264,414	
退職給与費用	28,800	28,800	0	
臨時雇賃金	18,000	27,000	(9,000)	
法定福利費	480,838	290,925	189,913	
福利厚生費	32,000	24,000	8,000	
会議費	150,000	150,000	0	
旅費交通費	112,800	71,150	41,650	
通信運搬費	227,090	370,058	(142,968)	
消耗品費	263,507	92,494	171,013	
消耗器具備品費	0	0	0	
印刷製本費	270	200,540	(200,270)	
光熱水料費	30,000	30,000	0	
賃借料	201,449	142,756	58,693	
保険料	4,000	4,000	0	
諸謝金	20,000	35,000	(15,000)	
租税公課	1,000	1,000	0	
支払負担金	3,600,000	335,000	3,265,000	
支払助成金	0	0	0	
業務委託費	0	0	0	
外注費	889,000	410,400	478,600	
雑費	400,000	478,660	(78,660)	
雑費	0	0	0	
<b>経常費用計</b>	<b>31,759,553</b>	<b>28,666,189</b>	<b>3,093,364</b>	
<b>当期経常増減計</b>	<b>(1,468,053)</b>	<b>2,194,985</b>	<b>(3,663,038)</b>	

科 目	当初予算(A)	前年度予算(B)	増減(A-B)	摘 要
経常外増減の部				
経常外収益				
① 特定費用準備資金取崩収入				
第三者評価事業積立資産取崩	574,726	0	574,726	
30周年事業積立資産取崩	572,000	0	572,000	
生涯研修センター積立資産取崩	400,000	0	400,000	
	0	0	0	
経常外収益計	1,546,726	0	1,546,726	
経常外費用				
① 特定費用準備資金積立金				
30周年事業積立資産積立	0	64,000	(64,000)	
全国大会研修事業積立資産積立	0	200,000	(200,000)	
	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	
経常外費用計	0	264,000	(264,000)	
当期経常外増減額	1,546,726	(64,000)	1,610,726	
当期一般正味財産増減額	78,673	2,130,985	(2,052,312)	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
① 受取補助金等（使途指定の寄付金・補助金等）				
使途指定寄付金				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高				

収支予算書

令和6年4月1日

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会計	法人会計	合 計	摘 要
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
経常増減の部				
経常収益				
① 受取入金金	75,000	75,000	150,000	
受取入金金	75,000	75,000	150,000	
② 受取会費	1,074,000	8,454,000	9,528,000	会費按分 公益事業1：法人会計9
正会員受取会費	936,000	8,424,000	9,360,000	
賛助会員受取会費	138,000	30,000	168,000	
③ 事業収益	13,418,500	0	13,418,500	
事業収入	7,738,500	0	7,738,500	
名簿登録料	1,800,000	0	1,800,000	
ぱあとなあ会費	3,880,000	0	3,880,000	
④ 受取補助金等	5,655,000	0	5,655,000	
受取地方公共団体補助金	917,000	0	917,000	青森県介護人材確保対策事業補助
その他受託収益	4,738,000	0	4,738,000	青森県権利擁護市町村支援隊能強化事業他1件受託
受取民間助成金	0	0	0	
⑤ 受取寄付金	770,000	770,000	1,540,000	
外部委員協力者受取寄付金	750,000	750,000	1,500,000	
受取寄付金	20,000	20,000	40,000	
⑥ 雑収益	0	0	0	
前期繰越収入	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
<b>経常収益計</b>	<b>20,992,500</b>	<b>9,299,000</b>	<b>30,291,500</b>	
経常費用				
① 事業費	22,688,255	0	22,688,255	
給料手当	10,210,176		10,210,176	
臨時雇賃金	540,140		540,140	
退職給与費用	103,680		103,680	
法定福利費	1,665,002		1,665,002	
福利厚生費	0		0	
旅費交通費	100,000		100,000	
会議・打合せ分	489,020		489,020	
研修・行事分	1,374,550		1,374,550	
通信運搬費	413,252		413,252	
消耗品費	388,300		388,300	
消耗器具備品費	0		0	
教材等購入費	103,690		103,690	
印刷製本費	298,400		298,400	
光熱水料費	126,000		126,000	
会議費	45,000		45,000	
賃借料	1,142,996		1,142,996	
保険料	150,000		150,000	
諸謝金	3,888,400		3,888,400	
租税公課	0		0	
業務委託費	86,000		86,000	
支払負担金	162,000		162,000	
支払助成金	960,000		960,000	
手数料	122,000		122,000	
研修費	225,600		225,600	
雑費	94,050		94,050	
② 管理費	0	9,071,298	9,071,298	
給料手当		2,612,544	2,612,544	
退職給与費用		28,800	28,800	
臨時雇賃金		18,000	18,000	
法定福利費		480,838	480,838	
福利厚生費		32,000	32,000	
会議費		150,000	150,000	
旅費交通費		112,800	112,800	
通信運搬費		227,090	227,090	
消耗品費		263,507	263,507	
消耗器具備品費		0	0	
印刷製本費		270	270	
光熱水料費		30,000	30,000	
賃借料		201,449	201,449	
保険料		4,000	4,000	
諸謝金		20,000	20,000	
租税公課		1,000	1,000	
支払負担金		3,600,000	3,600,000	
支払助成金		0	0	
業務委託費		0	0	
外注費		889,000	410,400	
雑費		400,000	400,000	
		0	0	
<b>経常費用計</b>	<b>22,688,255</b>	<b>9,071,298</b>	<b>31,759,553</b>	
<b>当期経常増減計</b>	<b>(1,695,753)</b>	<b>227,702</b>	<b>(1,468,053)</b>	

科 目	公益目的事業 会計	法人会計	合 計	摘 要
経常外増減の部				
経常外収益				
① 特定費用準備資金取崩収入				
第三者評価事業積立資産取崩	574,726		574,726	
30周年事業積立資産取崩	572,000		572,000	
生涯研修センター積立資産取崩	400,000		400,000	
			0	
経常外収益計	1,546,726		1,546,726	
(2) 経常外費用				
① 特定費用準備資金積立金				
	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	
	0		0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	1,546,726	0	1,546,726	
当期一般正味財産増減額	(149,029)	227,702	78,673	
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
II 指定正味財産増減の部				
① 受取補助金等（使途指定の寄付金・補助金等）				
使途指定寄付金				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
指定正味財産期末残高				

資金調達及び設備投資の見込み  
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資等の見込みについて

あり

設備投資の内容：社用車(中古小型乗用車)

支出予定額　　：1,774,080 円 (4年リース。月額 36,960 円(税込))

資金調達の方法：自己資金

3 その他(特定資産等の収支見込み)

項 目	金 額	備 考
特定資産取崩収入		
第三者評価事業積立資金取崩	574,726 円	積立目的終了に伴う全額取崩 目的事業実施に伴う全額取崩 計画上の一部取崩
30周年事業積立資産取崩	572,000 円	
生涯研修センター事業 積立資産取崩	400,000 円	
収入計(A)	1,546,726 円	
特定資産積立支出		
	0 円	
支出計(B)	0 円	
(A)－(B)	1,546,726 円	

# 公益社団法人青森県社会福祉士会第3期中期計画

## 第2年度(2023年(令和5)年度)評価

### 基本目標1 権利擁護の推進

成年後見人人材育成研修及びばあとなあ名簿登録研修を、計画通り隔年実施した。

ばあとなあを取り巻く環境の変化に応じ、定期報告時の虚偽に対する罰則の追加、ばあとなあ会費の減額、受任件数上限の見直し等、ばあとなあ名簿登録規程を見直し、法人会員としてばあとなあに参加する際の名簿登録規程を整備するなど、概ね計画通りに進行した。

### 基本目標2 質の高い人材の育成

基礎研修は、基礎Ⅱ・Ⅲはオンラインで行ったものの、基礎Ⅰについては実地で開催し、従来通りⅠ～Ⅲのすべてを実施することができた。

生涯研修センターの設置運営規程案を作成し、令和6年度から発足させることとすることができた。このセンターは、基礎研修だけでなく、認証研修をはじめとする各種研修の企画・実施を担当する部署や、スーパービジョン(SV)の推進を図る部署等を設置している。

認証研修の企画は一部の委員会で進められたが、生涯研修センターとして推進する体制は整っていない。SVについても、具体的な推進体制がまだ整っていない。この年度から行うこととしていた研修実績の管理方法も具体化されていない。

今後実務を通じて課題を把握しながら、体制整備を進めていく。

### 基本目標3 ソーシャルワークの普及・促進

全国大会実行委員会を立ち上げ、実行委員長や正副会長等の協議により2026年度の開催に向け大まかな組織案が考案されたが、現在の実行委員会構成員はコアメンバーにとどまっており、今後実行委メンバーの増強と、会内外への全国大会の意義の浸透が課題である。一方、仮予約ではあるが、会場が確保できたことは大きい。

学術集会の開催は、生涯研修事業運営委員会が主管し、基礎研修課程修了者による実践報告(研究)会として初めて開催された。今後の継続実施が望まれる。

ソーシャルワーカーデーは、県内4団体の共催として、県立保健大学を会場として開催され、大学生を中心に多くの参加者があった。来年度以降は他団体の協力を得ながらの本会単独の主催事業となり、安定的な開催が見込まれるほか、県内4団体協議を通じて、今後4団体の定期的な意見交換の場が設定された意義は大きい。

## 全体評価

3つの基本目標は、規程や組織の整備等の主要な取り組み事項においては、おおむね実行

されたと評価できるが、具体的な推進体制等、細部については明確になっていない部分がある。今後の計画遂行を通じて、取組の強化が求められる。



## 令和5年度に改正・制定した諸規程の概要

### (改正) ばあとなあ青森運営規程

#### 第5条(事業内容)

「法人後見、法人後見監督に関する事業」を、  
「法人後見、法人後見監督に関する事業の支援」に修正、等

### (改正) ばあとなあ青森名簿登録規程

#### 活動状況定期報告時の虚偽に対する罰則の追加(第9条)

ばあとなあ会費の減額(第12条) 受任1件8千円 → 6千円

受任件数上限引き上げ(第12条) 20件 → 25件

会費の上限の引き上げ(第12条) 8万円 → 9万円 等

### (制定) ばあとなあ青森名簿登録規程(法人会員)

ばあとなあ会員が所属し後見活動を行う法人を、ばあとなあ会員に位置付ける。

#### <登録要件の概要>

(スタッフ要件…次の①・②のいずれか)

①役員にばあとなあ会員(経験3年以上)1名以上がいる+事務員等1名以上

②職員にばあとなあ会員がいる(経験3年以上が1名以上、1年以上が1名以上)

(その他の要件)

弁護士又は司法書士1名以上が、役員就任または顧問契約

後見活動賠償責任保険に加入

名簿登録料 1万円 ばあとなあ会費 1件5千円

### (改正) ばあとなあ青森助成細則

#### 後見人活動費助成額上限の引上げ(第2条)

被後見人が施設等入所者 月5千円 → 月1万8千円

被後見人が在宅生活者 月1万円 → 月2万円

#### 助成対象被後見人等の要件緩和(第3条)

(旧) 本人収入-後見報酬 < 生保基準以下

かつ預貯金50万円以下(在宅)または30万円以下(施設入所等)

(新) 預貯金50万円以下

### (制定) 生涯研修センター設置運営規程案

「基礎研修部」「研修開発部」「スーパービジョン推進部」「会員サポート部」からなる。センター長は会長、副センター長は担当理事。年2回以上運営協議会を開く。

（制定）育児・介護休業規程

育児休業制度、介護休業制度、子の看護休暇、介護休暇、所定外労働の制限、時間外労働の制限、所定労働時間の短縮措置、ハラスメントの禁止等について定めた。

（制定）ハラスメント防止規程

労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法の改正に伴い、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの防止に関する措置等について定めた。

（改正）就業規則及びパート就業規則

勤務時間の短縮（第7条） 終業 17:30 → 17:15

定年（再雇用）年齢の引き上げ（第25条）

満60歳（満65歳） → 満65歳（満70歳）

採用時のマイナンバーの取扱いの記載

年次有給休暇（第10条） …年休取得義務化、半日単位取得の明示、  
労使協定の上時間単位の取得を可とする

（改正）給与規程及びパート給与規程

扶養手当における扶養の定義の明確化（第7条）

時間外手当における割増率の明示等（第9条）

（改正）本俸及び手当等の支給に関する細目

最低賃金の引上げに対応し、1級1号の俸給が青森県最低賃金を上回るよう、  
本俸月額表を改正。